

ネットワークの整理と 活かし方

どんな企業でも会社を取り巻く様々な関連先とのネットワークは重要なものです。高齢者住宅・施設・介護事業所の世界も同じです。ところがそうした施設の世界に入ってみると、このことが整理されていなく、職員個々に、あるいは部署ごとに、それぞれのネットワークをバラバラに持っていて、いざという時に機能していないことが見られます。こうした個々のネットワークを集約・一本化・整理することによって、ホームをとりまく地域、関連会社・事業者・行政・団体・個人の間関係、ホームとの関係が良くなり、情報の発信・入手が的確になされ、ホームの評判・体質を高める資産となっていきます。

例えば、ホーム通信を発信する場合、ネットワーク情報が一本化されていると、重複や漏れを防ぐことができ、効率の良い情報発信に繋がります。

次は、
施設ネットワークの
活用と効果について



施設ネットワーク



施設ネットワークの活用と効果は・・・

1. 情報発信の効率・効果を高められる
2. 必要情報を迅速に入手出来る
3. 顧客攻略に活用できる
4. ホーム自らをポジショニングできる
5. 日常業務のマスターとして活用する
6. 拡大と新しい展開をもたらしてくれる

全てのネットワークが**顧客情報**と**顧客獲得**に繋がります。

「**全ての方がお客様**」として捉えて施設内で全職員が認識し、推進していくことが施設運営の大事なポイントのひとつになっていきます。



長嶺 堅二郎